

アジア経営戦略ビジネススクール「アジア経済・ビジネス特別講義」(6回シリーズ)

激動するアジアにおける ビジネスの新潮流

アジア経営戦略研究所が5月に開校した「アジア経営戦略ビジネススクール」の6回の特別講義を三鷹ネットワーク大学と連携して開催します。特別講義はアジア経済やビジネスに関わる専門家によるオムニバス講義になります。今年度は、アジアの現場やビジネスに精通された研究者・実務家の講師が担当します。

第1回

9月24日(火)

大転換期を迎えたアジアの産業—米中対立の構造とASEANの進化

講師：後藤 康浩 亜細亜大学都市創造学部教授 (元日本経済新聞論説委員)

第2回

9月25日(水)

台湾企業、欧米企業の中国経営戦略

講師：藤原 弘 アジア企業経営研究会会長 (元ジェトロ大連事務所所長)

第3回

10月1日(火)

ザックリ！技術経営と知的財産(権)

—日本企業は？アジア企業は？どのように生き抜いていくのか
講師：工藤 昭英 東京農工大学大学院生物システム応用科学府客員教授
ビジネス・産学連携コーディネーター

第4回

10月3日(木)

アジアで活躍する日本人起業家とイノベーション

講師：佐脇 英志 都留文科大学教授 (前亜細亜大学特任教授)

各回共通

定員

20人(先着制)

受講料

各回1,000円(交流会・別途500円)

時間

午後6時30分～8時

※ 講座終了後に交流会を開催いたします。
ぜひご参加ください。(参加希望者のみ・別途500円)

お申し込み・お問い合わせ

三鷹ネットワーク大学推進機構

申込開始 ▶ 9月3日(火) 午前9時30分～

FAX 0422-40-0314 お問い合わせ電話 0422-40-0313

URL <https://www.mitaka-univ.org/>

郵送先 〒181-0013 三鷹市下連雀3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階

「激動するアジアにおけるビジネスの新潮流」

講座趣旨

今回の特別講義はアジア経済やビジネスに関わる専門家によるオムニバス講義になります。アジアの現場やビジネスに精通された研究者・実務家の講師が担当します。

アジアでビジネスチャンスが大きいということは、企業間の競争が一層激しく、またリスクもあり、ビジネス展開がなかなか難しくなっていることです。しかも自国第一主義を掲げるトランプ政権による米中貿易戦争などは、安全保障面も含めてより不透明感を高めています。アジアビジネスを成功裏に進めていくには、このような激動するアジアの大きなうねりを捉えて、各企業は自らの明確なアイデンティティの下に、アジアの生活者がより豊に暮らせるように、アジアの人々や企業と共に“新しい価値を共創していく経営”を行なっていくことが大事になります。

各講師が各々の専門分野から、アジアでの最近のトピックスや事例を取り上げながら分かりやすく解説します。

講座開催概要

日 程	令和元年9月24日(火)・25日(水)、10月1日(火)・3日(木)
時 間	午後6時30分～8時
定 員	各回 20人(先着制)
受講料	各回1,000円(交流会は希望者のみ、別途、各回500円)
難易度	★★★
会 場	三鷹ネットワーク大学
申し込み	<p>申込受付: 令和元年9月3日火曜日 午前9時30分～</p> <p> <input type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 窓口 <input type="checkbox"/> 郵送 いずれかの方法で三鷹ネットワーク大学へ </p>

アジア経営戦略ビジネススクールとは

アジアでの事業展開力を備えた経営幹部・候補者や後継者の育成あるいは新たな事業を起こす起業家精神を醸成するため、2019年2月に設立したアジア経営戦略研究所が運営するビジネススクールです。教室は、渋谷、吉祥寺、立川の3会場。スクール代表 池島 政広(亜細亜大学 名誉教授)。https://aibs.or.jp/

各回の概要

第1回 9月24日(火) 18:30~20:00	講師 後藤 康浩(ごとう やすひろ) 亜細亜大学 都市創造学部 教授
	「大転換期を迎えたアジアの産業——米中対立の構造とASEANの進化」
	2018年3月に始まった米中対立は表面的な緩和とは裏腹に米中のグローバル覇権闘争に進んでおり、長期化するの確実。米国は中国の製造業の進化、中国経済の膨脹に危惧を感じており、中国の産業競争力の弱体化、とりわけAI、IoT、自動運転、航空宇宙などの分野や半導体、ロボットなどのデバイス、設備分野を叩くことに力を入れている。それが中国からの輸入品への追加関税を通じた中国からの生産拠点の海外移転の促進、米国企業を脅かすファーウェイ、テンセント、DJI、ハイクビジョンをはじめ、中国の民間企業へのバッシングである。米中対立は一部のASEAN諸国の成長に追い風となっており、ベトナム、ミャンマー、フィリピンは今後10年間で大きく飛躍するだろう。

第2回 9月25日(水) 18:30~20:00	講師 藤原 弘(ふじわら ひろし) アジア企業経営研究会 会長 (元 ジェトロ大連事務所 所長)
	「台湾企業、欧米企業の中国経営戦略」
	兩岸関係の政治的緊張が続く中で台湾企業はどのようにして、最大の投資先である中国へ投資しているのか、また現地での経営環境(人材確保、現地部品調達、販売先の多角化等)にどのように対応しているか、これまでのインタビュー調査をベースに明らかにしたい。同時に主要顧客である欧米企業の戦略及び品質重視で共通項を持つ日台企業のビジネスアライアンスの可能性について台湾企業の経営者の生の声を紹介したい。

第3回 10月1日(火) 18:30~20:00	講師 工藤 昭英(くどう あきひで) 東京農工大学大学院生物システム応用科学府客員教授 ビジネス・産学連携コーディネーター
	「ザックリ! 技術経営と知的財産(権) ——日本企業は? アジア企業は? どのように生き抜いていくのか」
	研究所や本社部門が考えて開発する商品やサービスは「良いものが売れる」時代の産物。それはすでに過去のものです。現在のビジネス定石は何でしょうか。 特許(権)、知的財産(権)と言え、神聖、高尚なものだと思われがちですが、実は身近なものなのです。知的活動の産物を広く権利として認める国は、それを水戸黄門の印籠のように最強のビジネスツールとして使いボロ稼ぎをします。 日本また新興アジア国の立ち位置を意識しつつ展望します。

各回の概要

第4回 10月3日(木) 18:30~20:00	講師 佐脇 英志 (さわき ひでし) 都留文科大学 教授 (前 亜細亜大学 特任教授)
	<p>「アジアで活躍する日本人起業家とイノベーション」</p> <p>グローバル化の波に晒され、今日本経済、日本企業が競争優位を急速に失っている。本状況下、海外に飛び出し a) 海外という非常に厳しい経営環境下において、b) 日本では想定できないような様々な困難に直面し、c) 試行錯誤の末問題解決し、同時に d) 東南アジア現地の経営環境を活かした様々なイノベーションを巻き起こし、現在の地位を築いている「アジア日本人起業家」がいる。本講義では、アジア日本人起業家の大規模調査によって、新しいビジネス潮流を提示する。アジア日本人起業家が、さらに3つのイノベーション「ドラッカーの7つの機会」「シュンペーターの5つの類型」「新興国3スタートアップイノベーション(タイムマシン、リープフロッグ、ピボット)」を駆使してビジネスを立ち上げているさまを概観する。</p>
第5回 11月26日(火) 18:30~20:00 (予定)	講師 三橋 秀彦 (みつはし ひでひこ) 亜細亜大学 国際関係学部 教授
	<p>「中国におけるニューエコノミーの新局面」</p> <p>※ 10月22日(火) 募集開始予定</p>
第6回 12月18日(水) 18:30~20:00 (予定)	講師 村岡 隆司 (むらおか たかし) 元 三菱UFJ銀行 常務執行役員
	<p>「アジア事業で留意すべき非事業リスク ——リーマンショックとアジア通貨危機の教訓」</p> <p>※ 11月19日(火) 募集開始予定</p>

講師紹介

第1回	<p>後藤 康浩 (ごとう やすひろ) 亜細亜大学 都市創造学部 教授</p> <p>福岡県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業、豪ボンド大学経営大学院修了 (MBA 取得)。1984 年、日本経済新聞社入社。社会部、アラビア語研修 (カイロ) を経て国際部、バーレーン支局、欧州総局 (ロンドン) 駐在、東京本社産業部、中国総局 (北京) 駐在。その後東京本社で編集委員、論説委員、編集局アジア部長等を歴任。2016 年同社を退社し、現職に就任。専門分野：アジア経済、グローバル産業論、日本企業の海外展開。</p> <p>主な著作：『強い工場』(2003 年) 『勝つ工場』(2005 年) 『アジア力』(2010 年) 『資源・食糧・エネルギーが変える世界』(2011 年) 『ネクスト・アジア』(2014 年) いずれも日本経済新聞出版社刊。『アジア都市の成長戦略』(慶應義塾大学出版会、2018 年)</p>
第2回	<p>藤原 弘 (ふじわら ひろし) アジア企業経営研究会 会長 (元 ジェトロ大連事務所 所長)</p> <p>ジェトロ在職中に海外勤務はロンドン、香港、大連で日本企業に対しての貿易、投資面での支援活動に従事したほか、日中経済協会 (中国関係)、交流協会 (台湾関係) にも出向し、日本企業の対中投資の支援を行い、交流協会では日台企業のビジネスアライアンス促進活動に参加。さらにジェトロ退職後はアジア企業経営研究会で日本企業のアジア展開に関する勉強にも参加。</p>
第3回	<p>工藤 昭英 (くどう あきひで) 東京農工大学大学院生物システム応用科学府 客員教授 ビジネス・産学連携コーディネーター</p> <p>大学 (理学部修士) では触媒科学を専攻し大手化学会社に入社。本社新製品開発部門に異動後は、HDD サスペンション基材でデファクトスタンダード、PDP 光学フィルターでも世界シェア No.1 を獲得。情報材料事業部長の後はビジネス出身の初の知的財産部長として部の改革を率先。韓国 JV の CEO を務めた後に退社、東京農工大学リーディング大学院プログラムの特任教授、現在客員教授。社外、学外活動も活発で、MIT-VFJ ビジネスプラン C&C のメンターとして最優秀賞を 2 回獲得。座右の銘は “Be Young, be Foolish and be Proud”</p>
第4回	<p>佐脇 英志 (さわき ひでし) 都留文科大学 教授 (前 亜細亜大学 特任教授)</p> <p>住友銀行 (現 SMBC) で銀行業務を経験後、25 年以上海外ビジネスを経験。アジアにて、電機メーカーの営業・調達責任者、現地代表、印刷会社の CEO、クレーン工場の現地責任者等、計 5 回 18 年間の海外駐在を通しアジアの経営と経営再建に携わる。職務の傍ら、夜学で英国 MBA、オーストラリア経営学博士を取得。教務の傍ら、文科省科研費と異文化経営学会の支援を得て、アジアで活躍する日本人起業経営者を研究中 (100 人以上の起業家面談を行う)。</p>
第5回	<p>三橋 秀彦 (みつはし ひでひこ) 亜細亜大学 国際関係学部 教授</p>
第6回	<p>村岡 隆司 (むらおか たかし) 元 三菱 UFJ 銀行 常務執行役員</p>

三鷹ネットワーク大学 受講者登録用紙

*すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。インターネットでもご登録ができます。

※太枠内の項目は必須事項です。

登録日： 令和 年 月 日

お名前	フリガナ	性別	男・女	生年月日	西暦 年 月 日
受講者区分 ※該当する番号を1つ選んで○をつけてください。	(1)【市民】三鷹市にお住まいの方(学生は除く) (2)【市民(在勤・在学)】三鷹市外にお住まいで、三鷹市内の職場・学校に通われている方 (3)【市民学生】三鷹市にお住まいの学生の方 (4)【会員】勤務先、学校等が三鷹ネットワーク大学の正会員または賛助会員の方 (5)【一般】三鷹市外にお住まいの方				

Eメール					
緊急連絡先	携帯電話番号：		携帯Eメール：		

《郵便物の送付先※振込用紙や受講証等のお送り先を、下記から選んでください。》

郵便物送付先	ご自宅	勤務先
---------------	-----	-----

《ご自宅》

ご住所	〒 —			
電話番号		F A X		

《勤務先・学校名等》

勤務先名称	※学生の場合は学校名と学部・学科名			
勤務先部署名	※学生の場合は学籍番号		役職名	
ご住所	〒 —			
電話番号		F A X		

《ご職業等》※職種・業種について該当するものにそれぞれ○をつけてください。

勤務先業種	①官公庁 ②団体 ③教育 ④宗教 ⑤医療 ⑥建設 ⑦金融・保険 ⑧製造 ⑨運輸・通信 ⑩農林水産 ⑪電気・水道 ⑫不動産 ⑬卸・小売 ⑭飲食 ⑮IT・ソフト ⑯その他
職業(職種)	①経営者 ②役員・管理職 ③一般事務 ④営業 ⑤販売・サービス ⑥生産管理 ⑦研究開発 ⑧専門職(医師・弁護士等) ⑨教職 ⑩自由業 ⑪専業主婦 ⑫無職 ⑬その他

《三鷹ネットワーク大学からの情報提供ご希望の有無》

情報提供	希望する	希望しない
-------------	------	-------

《興味をお持ちの分野》※3つまでお選びください。

1経営・経済学	2歴史学	3法学	4文学	5工学	6教育学	7福祉・医療	8介護・看護
9コンピューターサイエンス	10アジア・アフリカ系言語	11総合政策	12国際関係論	13政治学	14天文学	15農学	16臨床心理学
17カウンセリング学	18社会心理学	19国際コミュニケーション学	20スポーツ医学	21マーケティング学	22人間環境学	23キャリアデザイン等	24社会福祉学
25情報科学	26情報コミュニケーション学	27グローバルビジネス学	28宗教学	29平和学	30生物学	31化学	32数学
33教養学	34建築学	35その他					

◆受講者登録について *すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。

三鷹ネットワーク大学で受講される場合は、受講者登録の手続きが必要です。講座のお申し込みをする前に（講座のお申し込みと同時に）、必ず受講者登録を済ませてください。ご登録をしていただくことにより、今後お申し込みされる際に、ご住所等、個人情報を記入する手間がなくなります。またインターネットからのお申し込みも可能となります。

◆個人情報について

ご記入いただいたお客様の個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切に管理するとともに、受講決定通知および講座のご案内目的のために使用します。

受講者 番号	E から始まる数字 6 ケタをご記入ください。 E _ _ _ _ _ _	申込日	令和 年 月 日
名前	フリガナ _____	電話番号	_____

※申込欄に○をご記入ください

申込欄	講座タイトル・講師	受講料	領収印
	第1回 9月24日(火) 午後6時30分～8時 [B1944101] 「大転換期迎えたアジアの産業——米中对立の構造と ASEAN の進化」 講師：後藤 康浩 亜細亜大学 都市創造学部 教授 (元 日本経済新聞 論説委員)	1,000 円	
	第2回 9月25日(水) 午後6時30分～8時 [B1944102] 「台湾企業、欧米企業の中国経営戦略」 講師：藤原 弘 アジア企業経営研究会 会長 (元 ジェトロ大連事務所 所長)	1,000 円	
	第3回 10月1日(火) 午後6時30分～8時 [B1944103] 「ザックリ！ 技術経営と知的財産 (権) ——日本企業は？ アジア企業は？ どのように生き抜いていくか」 講師：工藤 昭英 東京農工大学大学院 生物システム応用学府 客員教授 ビジネス・産学連携コーディネーター	1,000 円	
	第4回 10月3日(木) 午後6時30分～8時 [B1944104] 「アジアで活躍する日本人起業家とイノベーション」 講師：佐脇 英志 都留文科大学 教授 (前 亜細亜大学 特任教授)	1,000 円	

※ファックスでお送りいただく場合には、着信確認のためのお電話をお願いいたします。

電話：0422(40)0313 ファックス：0422(40)0314

この講座をどこでお知りになりましたか？ (該当するものに○を1つだけご記入ください)

- | | | |
|---------------------|----------------|------------|
| 1. 三鷹ネットワーク大学ホームページ | 5. 学内ポスター・チラシ | 9. その他 () |
| 2. ダイレクトメール | 6. 講師・教職員よりの紹介 | |
| 3. 三鷹市広報 | 7. 友人・知人よりの紹介 | |
| 4. ポスター / チラシ | 8. 新聞記事等 | |

【ご受講について】

●受講料のお支払いについて

受講予定者の方には、受講料のお支払い方法についてのご案内をメール便でお送りします。郵便振替、現金等、書類に記載されている方法で、お支払いいただきますようお願いいたします。受講予定者としてご通知した方からの受講料のお支払いを事務局が確認できた時点で、受講が確定します。期日までに受講料をお支払いいただけない場合には、お申し込みを取り消す場合がありますのでご注意ください。※お支払い方法は、講座によって異なる場合がありますので、詳しくはお送りする書類をご確認ください

●受講のキャンセルについて

- (1) 講座申し込み後にお客様の事情により受講をキャンセルする場合は、至急事務局まで電話でご連絡ください。
- (2) 一度申し込んだ講座を別の講座に変更することはできません。申し込み済みの講座のキャンセルをしてから、再度希望の講座にお申し込みください。ただし、講座申込期間内のみ受け付けます。
- (3) 受講料入金後のキャンセルについて
 1. 講座前日(連続講座の場合は第一回講座前日)までに申し出があった場合
キャンセルの申し出があった日から2週間以内に事務局まで受け取りに来ていただければ、全額返金します。なお、2週間を過ぎても受け取りに来ていただけなかった場合は500円の手数料を差し引いた残額を郵便小為替で送付します。この場合、受講料500円以下の講座については返金はいたしません。
 2. 講座当日(連続講座の場合は第一回講座当日)、講座開始時刻前に申し出があった場合
講座当日(連続講座の場合は第一回講座当日)から2週間以内に事務局まで受け取りに来ていただければ、500円の手数料を差し引いた残額を返金します。なお、2週間を過ぎても受け取りに来ていただけなかった場合は500円の手数料を差し引いた残額を郵便小為替で送付します。この場合、受講料500円以下の講座については返金はいたしません。
 3. 1, 2以外のキャンセルの場合
受講料の返金はいたしません。

●受講資格について

受講は原則としてお申し込みされた本人のみとさせていただきます。受講資格を他の人に譲渡することはできません。